

平成28年(2016年)9月の結果 (二人以上の世帯)

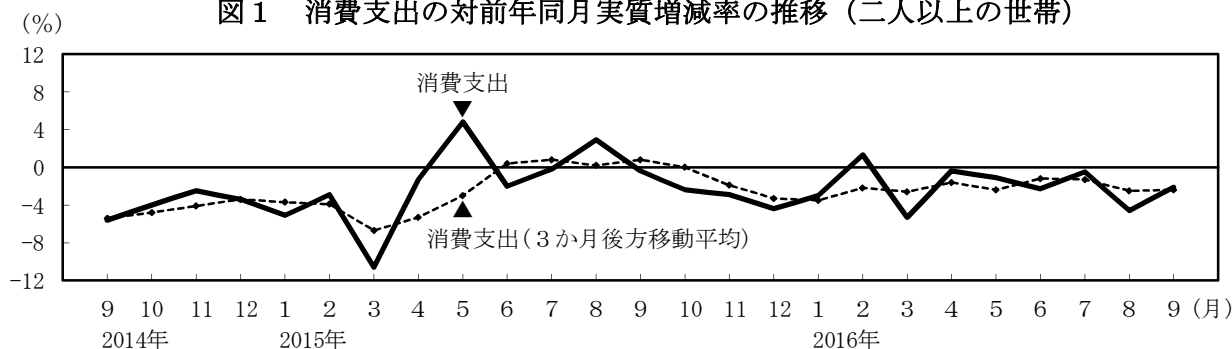
消費支出

・消費支出は、	1世帯当たり 267,119 円	
前年同月比	実質 2.1%の減少	名目 2.6%の減少
前月比(季節調整値)	実質 2.8%の増加	
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 233,126 円	
前年同月比	実質 0.6%の減少	名目 1.1%の減少
前月比(季節調整値)	実質 2.1%の増加	

「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)

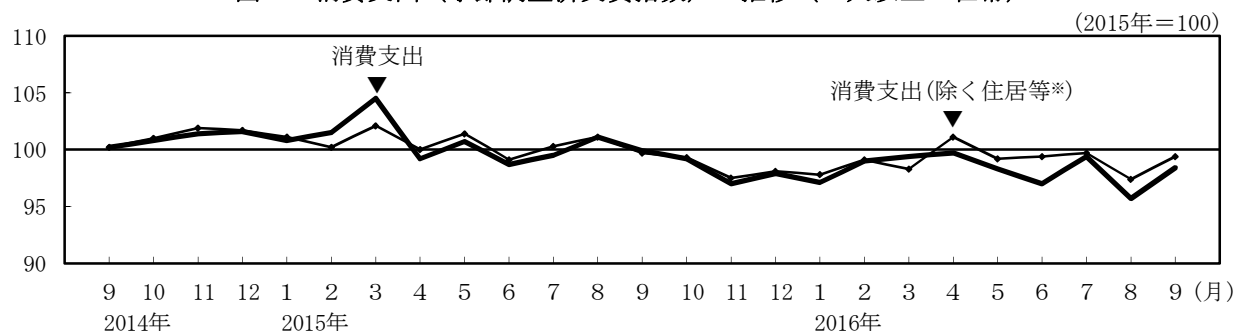


	2015年				2016年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費支出	-0.4	-2.4	-2.9	-4.4	-3.0	1.3	-5.3	-0.4	-1.1	-2.3	-0.5	-4.6	-2.1
消費支出(除く住居等)	-0.9	-2.4	-2.9	-4.3	-2.7	2.0	-4.3	0.4	-0.9	-0.4	-0.8	-3.1	-0.6
(参考)3か月後方移動平均													
消費支出	0.8	0.0	-1.9	-3.3	-3.5	-2.2	-2.6	-1.6	-2.4	-1.2	-1.3	-2.5	-2.4
消費支出(除く住居等)	0.8	-0.4	-2.0	-3.3	-3.4	-1.9	-1.9	-0.8	-1.7	-0.3	-0.8	-1.5	-1.5

注 3か月後方移動平均は、さう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。

ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2015年				2016年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
消費支出	99.9	99.2	97.0	97.9	97.1	99.0	99.4	99.7	98.3	97.0	99.4	95.7	98.4
対前月変化率(%)	-1.2	-0.7	-2.2	0.9	-0.8	2.0	0.4	0.3	-1.4	-1.3	2.5	-3.7	2.8
消費支出(除く住居等)	99.7	99.3	97.5	98.1	97.8	99.1	98.3	101.1	99.2	99.4	99.7	97.4	99.4
対前月変化率(%)	-1.4	-0.4	-1.8	0.6	-0.3	1.3	-0.8	2.8	-1.9	0.2	0.3	-2.3	2.1

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2016年9月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	267,119	-2.6	-2.1	-		7 か月連続の実質減少
食 料	69,425	-1.4	-2.0	-0.52	<減 少> 外食,魚介類など	2 か月連続の実質減少
住 居	14,418	-16.6	-16.9	-1.07	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	2 か月連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	18,335	-3.9	2.5	0.17	<増 加> 電気代	4 か月ぶりの実質増加
家具・家事用品	10,140	6.1	7.7	0.27	<増 加> 家庭用耐久財,家事用消耗品など	2 か月ぶりの実質増加
被 服 及 び 履 物	8,129	-12.3	-13.6	-0.46	<減 少> 洋服,シャツ・セーター類など	4 か月連続の実質減少
保 健 医 療	11,769	-0.1	-1.1	-0.05	<減 少> 医薬品,保健医療用品・器具	4 か月ぶりの実質減少
交 通 ・ 通 信	39,678	-1.5	0.6	0.09	<増 加> 通信	4 か月ぶりの実質増加
教 育	13,773	-2.8	-4.2	-0.22	<減 少> 授業料等,教科書・学習参考教材	5 か月連続の実質減少
教 養 娛 楽	27,684	0.6	0.3	0.03	<増 加> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽サービス	5 か月ぶりの実質増加
その他の消費支出	53,766	-2.1	(-1.6)	(-0.33)	<減 少> 交際費,仕送り金など	2 か月連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	233,126	-1.1	-0.6	-		5 か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

設備修繕・維持	[-1.02]	設備器具, 外壁・塀等工事費
交際費	[-0.56]	贈与金
授業料等	[-0.24]	私立大学, 国公立高校
教養娯楽用品	[-0.21]	他の愛玩動物・同用品*, 切り花
外食	[-0.20]	飲酒代, 和食
自動車等関係費	[-0.20]	自動車保険料(任意), ガソリン

< 増加項目 >

諸雑費	[0.48]	葬儀関係費, 保育費用
家庭用耐久財	[0.38]	エアコンディショナ, 電気洗濯機
通信	[0.35]	移動電話通信料
電気代	[0.23]		

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の愛玩動物・同用品」とは、「ペットフード」に分類されない愛玩動物及びそれらに関する用具をいう。

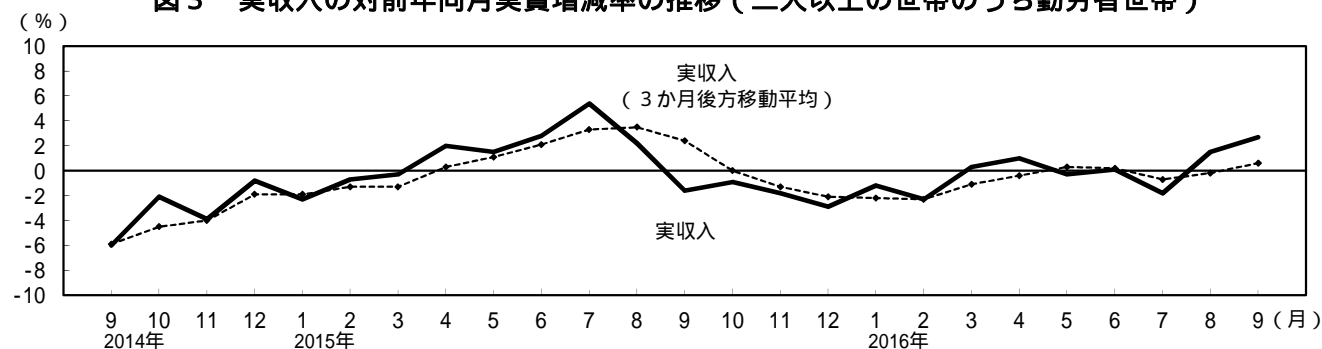
実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 424,553 円
前年同月比 実質 2.7%の増加 名目 2.2%の増加

3 勤労者世帯の収支

(1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2015年				2016年								
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実 収 入	-1.6	-0.9	-1.8	-2.9	-1.2	-2.3	0.3	1.0	-0.3	0.1	-1.8	1.5	2.7
(参考) 3か月 後方移動平均	2.6	0.2	-1.1	-1.8	-2.0	-2.2	-1.0	-0.4	0.1	-0.2	-1.1	-0.6	0.1
名 目	2.4	0.0	-1.3	-2.1	-2.2	-2.3	-1.1	-0.4	0.3	0.2	-0.7	-0.2	0.6
実 質													

(2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳(2016年9月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	424,553	2.2	2.7	-	2か月連続の実質増加
世 帯 主 収 入	347,052	0.9	1.4	1.20	2か月連続の実質増加
定 期 収 入	341,858	0.9	1.4	1.14	2か月連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	56,926	1.4	1.9	0.25	4か月ぶりの実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	8,328	39.0	39.7	0.57	6か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	77,012	-0.5	-	-	2か月ぶりの減少
可 処 分 所 得	347,541	2.8	3.3	-	2か月連続の実質増加
消 費 支 出	296,387	-0.8	-0.3	-	5か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	85.3	(前年同月) (ポイント差) 88.4 -3.1			季節調整値でみると72.0%で、前月に比べ1.6ポイントの上昇となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。